

(1) 平成28年度横浜市社会教育コーナー管理運営報告書

事業対象施設 横浜市社会教育コーナー 横浜市磯子区磯子3-6-1-1

事業期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

管理運営団体 特定非営利活動法人 横浜市民アクト

1 生涯学習・地域活動団体（個人）へ安全・安心な場の提供

1) 開館日数：345日

休館日 (原則毎月第1月曜日&年末年始 全20日)

2) 利用率・利用人数・利用コマ数 (別紙：(5) 利用状況年間報告書)

3) 登録団体数：365団体 (平成29年3月31日現在)

分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数
テニス	115	卓球	3	太極拳	21	ヨガ	4	体操	8
ダンス	43	踊り	1	武道	3	朗読	4	生花	3
詩吟	2	合唱	40	器楽	11	絵画	13	水彩画	11
書道	7	手工芸	8	ゲーム	2	外国語	9	俳句	6
歴史文学	1	パソコン	0	自治会	1	管理組合	9	健康福祉	2
地域市民活動	19	高齢者福祉	1	子育て支援	2	青少年育成	4	その他	12

成果：

① 利用率、利用者数増加への取組

- ・25年5月から実施している「利用希望日の1週間前に部屋等が空いていたら、利用団体が持っている予約コマ数に関係なくどの部屋でも利用可能」とした取組が定着してきている。
- ・26年7月より、全ての部屋（スポーツ広場を含む）において、1団体あたりの利用予約数を3コマから5コマへ増やした。
- ・利用団体の作品発表、活動紹介、情報交換の場として回廊に展示スペースを設置し供用を開始した。
- ・利用率・利用者数増の取組を行っているが、登録団体数は、前年度より32団体減少。この理由としては、会員の高齢化により団体自体が解散したことや、ダンス等の団体の登録更新が行われていないことなどがある。また、利用者数についても、登録団体数の減少に伴い、前年度よりも3,800人減となった。

② UR機構との連携強化

- ・当施設は、UR機構が管理する「磯子3丁目団地」1号棟の1階部分に設置されている。団地事務所や担当部署とコミュニケーションを図り、連絡等を密に行い、様々な対処をした。

③ 開館・閉館時間の厳守

- ・決まった時間の開館・閉館を職員（アルバイト含む）全員に意識徹底させ、コミュニケーション良く行った。また窓口では利用者の立場に立った分かりやすい受付案内に努めた。

④ 安全安心をモットーの施設運営

- ・安全、安心な利用をモットーに施設内の保全状況等をチェックし、計画的な修繕と業者による定期点検、清掃作業、併せて日頃の業務を通しての点検などに努めた。

⑤ 事務所内での情報の共有

- ・職員はローテーション勤務のため、普遍的な認識と情報の共有が必要となる。その解決のため、夜間アルバイトを含めた全員共通の日報、連絡帳の活用及び定期的な事務所会議の実施により、サービスのばらつきや不公平な対応の防止に努めた。
- ・守秘義務の履行、個人情報保護の遵守、情報公開規定による適切な対応を心掛けた。

2 施設の防災・防犯対策

① 緊急時での対応

- ・緊急時、教委、消防・警察への連絡内容（対応マニュアル）を作成し事務所内に掲示。職員への周知を行なった。
- ・怪我人や病人、盗難等の発生時の対応もマニュアルを作成し、アルバイトを含め職員全員へ配布。その時慌てないために、定例会議などで周知確認を行った。

② 館内平面図で確認

- ・消火設備や警報装置、避難経路の平面図を各部屋に掲示。年2回の防災訓練時の確認と併せ消火器の設置場所が直ぐ分るよう表示をしている。

③ 災害対策

- ・磯子区は海に近く地震等発生時に津波が発生する可能性がある。また遠距離からの利用者もあることなどから、有事の際の一時帰宅困難者対応も含め様々な情報を集めリーフレットにまとめている。
- ・地震等災害発生時の対応として、役割分担を明確にし、スムーズに避難誘導・消火活動に務められるよう防災訓練時に確認を行った。

3 生涯学習・社会教育に関する相談・コーディネート・情報提供

① 相談内容の特徴と取組

- ・市民個人に対し講師や団体・サークル、イベント、講座等の情報提供を行った。（28年度：97件）
- ・市内外の施設職員や中間支援機関（支援センター）など生涯学習関係職員から講師の紹介や事業プログラムの組み立て、会議の考え方や進め方などの相談も寄せられ対応した。（28年度：21件）
そうした相談から、研修会実施となった区が3件あった。
- ・「学校・地域コーディネーター」からの相談対応も昨年度に引き続き実施した。（28年度：3件）
- ・28年度は、生涯学習文化財課と共に27年度訪問できなかった区へ訪問するなど、生涯学習関係職員や中間支援組織の後方支援を行った。（28年度訪問区：7区）
また、そうした実績から、各区が抱えている課題や現状の分析を行った。
- ・サークル団体情報提供の際、持ち帰ってゆっくり検討できる利用登録団体会員募集冊子が大変役に立っている。

② 相談カードの作成

- ・相談カードを作成し、それを毎月まとめ全員に回覧、相談内容とその対応内容等について情報共有した。職員全員が同じ情報を持つことは無理でも、情報源を共有することは大切で今後も続けていきたい。

4 社会教育コーナーの評価・検証

① 利用者会議（別紙「平成28年度横浜市社会教育コーナー利用者会議報告書」参照）

- ・普段利用している登録団体の代表者による懇談会。ご利用の際気付いたことや利用者アンケートで出てきた問題についてお聞きし、今後の管理・運営に活かしていくことを目的に実施。

- ・メンバーは2年毎に変わる。参加団体同士の交流もあり、有意義な会議になっている。

② 利用者アンケート（別紙「利用者アンケート集計結果」参照）

- ・登録団体から施設の利用に関してご意見を頂き、管理運営に活かしていく事を目的に実施。

日程：11月1日～11月30日の間実施

回答数：102団体

頂いたご意見をまとめ、それに対する回答と共に館内に貼りだし周知した。

③ 事業アンケート

- ・事業（主に講座）実施の最後に受講者に向け実施。今後の事業開催に活かしていく事を目的に実施。
- ・会場・設定時間・（曜日）・講師・スタッフなど各項目と記述を含め記入いただける工夫をした。

④ ご意見箱の設置と窓口対応

- ・気軽にご意見が頂けるよう事務所窓口を設置、また利用報告書にも記入欄を作っている。
- ・窓口では相手が話しやすい雰囲気と簡潔にまた丁寧な対応を職員全員心掛け、相手に伝わる工夫をしている。

5 業務に関する研修

① 施設の管理運営に関する研修

- ・防火管理者講習会：1名参加
- ・労務・経理研修：2名参加
- ・防災訓練：全員参加

② 個人情報保護に関する研修

- ・実施日：9月23日（金）
- ・参加者：21人
- ・テーマ：「個人情報保護に関する法律」・「横浜市個人情報の保護に関する条例」の確認、29年に改正される内容について注意点を学ぶ、併せて「マイナンバー」の取り扱いについて

③ 生涯学習等に関する研修

- ・横浜市教委主催研修をはじめ、市民局の事業や各分野の定例会等多岐にわたり参加。今後の業務に活かせるよう職場内で情報の共有を行った。

(2) 平成 28 年度保守管理維持管理報告書

業務	頻度		備考	実施年月日	実施結果
設備建物維持管理 (建築・電気・消防設備)	1回/月	管理者点検	スタッフによる点検(業者による点検月を除く)	別紙「設備点検記録表」のとおり	
	3回/年	定期点検	業者による点検	別紙「設備点検報告書」のとおり	
空調設備の清掃点検	1回/月	管理者点検	スタッフによる点検	別紙「設備点検記録表」のとおり	
	1回/3か月	定期点検	業者によるフィルターの清掃・点検	別紙「設備点検報告書」のとおり	
第一種特定製品点検 (空調設備・冷水機)	4回/年	管理者点検	フロン排出抑制法上の簡易点検(管理者点検)	別紙「簡易点検チェックシート」のとおり	
消防用設備点検	2回/年	定期点検	消防法上定期点検	平成 28 年 5 月 2 日	異常なし
				平成 28 年 11 月 7 日	異常なし
防火対象物点検	1回/年	定期点検	消防法上必要書類一式点検及び館内点検	平成 28 年 5 月 2 日	異常なし
自動ドア点検	2回/年	定期点検	自動ドア専門メンテナンス(法定点検)	平成 28 年 4 月 18 日	異常なし
				平成 28 年 10 月 19 日	内側ドア装置交換推奨期 ※29.3.16 交換(施設所管課対応)
非常通報装置点検	2回/年	定期点検	専門メンテナンス	平成 28 年 5 月 2 日	異常なし
				平成 28 年 11 月 7 日	異常なし
清掃業務	毎日	日常清掃	スタッフによる各部屋とトイレ・回廊等の清掃		
	1回/2か月	定期清掃	業者による清掃 床のワックス及び網戸・ガラス・換気扇等中心	別紙「設備点検報告書」のとおり	
	1回/2か月	定期清掃	スタッフによる清掃(業者による清掃月を除く)		
小破修繕	随時			下欄内訳のとおり	

小破修繕内訳			
対応月	内容	対応月	内容
4月	ピアノ修理	1月	アートルームドア修繕工事
9月	トレーニングルーム等3か所ドアクローザー交換	2月	研修室B・C壁穴補修、受付天井照明工事、テニスコート出入り口扉塗装、 トレーニングルーム床修繕
11月	ボイラー室シリンダー修繕		

(3) 横浜市社会教育コーナー 生涯学習事業（自主事業）報告書

事業目標 1

生涯学習・社会教育に関する情報の受発信並びに相談コーディネートの充実を図る

① ホームページの充実

コーナー自主事業をはじめ市内を中心とした講座・イベントなどをはじめ、併せて関係する機関等の紹介も行った。

② メンバー募集冊子の作成&配布

活動団体の課題の一つに会員の減少がある。そうした団体の安定した運営を図る事を目的に登録団体にダイレクトメールを送付、希望団体の情報をまとめ「会員募集团体一覧」を1,000冊作成。磯子区内市民利用施設や18区の生涯学習支援センターへ配架と配布を依頼した結果、問い合わせが35件あり効果があった。

③ メンバー募集情報のホームページ掲載

上記団体情報を冊子配布と併せ、社会教育コーナーホームページにも掲載し、周知の広がりをおねらった。ホームページを見ての問い合わせもあった。

④ 情報の集約

市内18区の生涯学習・市民活動支援センターや大学、施設、機関の定期発行物（リーフレット・情報紙・グループ情報誌・ボランティア講師情報誌など）を集約し配架、相談や情報提供に役立てた。

⑤ 館外掲示

団体のイベント・講座のチラシやポスターを道路わきの「掲示板」に貼り出し、コーナー横を通る人を館内へ誘致し情報の提供へつなげた。

⑥ メルマガ発行

横浜市内を中心に生涯学習関連のイベント・講座や活動に役立つ内容などの情報を収集し毎月定期的に発行。647件の登録がある。

⑦ 相談コーディネートの充実

- ・市民個人に対し講師や団体・サークル、イベント、講座等の情報提供を行った。(28年度：97件)
それに加え市内外の施設職員や中間支援機関（支援センター）など生涯学習関係職員から講師の紹介や事業プログラムの組み立て、会議の考え方や進め方などの相談も寄せられ対応した。(28年度：21件)
そうした相談から、研修会実施となった区が3件あった。
- ・27年度から学校を中心にして活動しているコーディネーターに対し、インターネットや電話での相談にも応じ、課題解決への道筋をつけた。(28年度：3件)
- ・28年度は、生涯学習文化財課と共に27年度訪問できなかった区へ訪問するなど、生涯学習関係職員や中間支援組織の後方支援を行った。(28年度訪問区：7区)
また、そうした実績から、各区が抱えている課題や現状の分析を行った。
- ・サークル団体情報提供の際、持ち帰ってゆっくり検討できる会員募集冊子が大変役に立っている。

事業目標 2

学校教育・社会教育の人材育成の強化と支援の充実を図る

① 学校・地域コーディネーターのネットワーク

目的：学校・地域コーディネーター養成講座（市教委主催）修了生の活動現場での課題の共有、情報交換を定期的に行い、課題解決などを行う。

日程：4月～3月 毎月第2水曜日 10:00～12:00（全12回）

参加人数：140人（延人数）

内容：活動している各校の取組状況の紹介、先進事例校の見学、活動に関して課題や悩みを相互に聞きあい解決への糸口を一緒に考えている。

成果：常時10人以上が参加し、活動が初めての方からの様々な質問に皆が丁寧に対応している。時には一緒に考える場もあり、ここでも仲間づくりが進んでいる。

課題：連絡会への参加人数が固定してきた。養成講座の報告会等で参加の呼びかけを今後も続けていく。小学校と中学校ではコーディネートする内容が異なるので、それぞれで連絡会を持ちたい。

② Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム

（共催：Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム実行委員会）

目的：平成19年度から始まった学校・地域コーディネーターの活動を広く知ってもらうことを目的に地域（企業やNPOなど）と学校がつながり、子どもたちの学習支援を進める。

日程：9月10日（土）10:00～15:30

内容：教育支援プログラムを持っている企業NPO大学などと学校をつなぐプログラム見本市と交流会を行う。34団体（企業）のプログラムが揃い、活発な情報交換が行えた。

参加者数：203人

成果：学校・地域コーディネーター連絡会が母体となり実行委員会を立ち上げ開催した。会場は社会教育コーナー全体を使い、教育支援プログラムの参加団体も増えた。また、交流会では実際に見本市出展の団体を使つての教育支援の事例発表を交えた交流会を開催した。

大学生や将来教師を目指す高校生の参加があり、交流会は活発に行われた。

③ 学校地域コーディネーターフォローアップ講座

目的：学校と地域を結ぶコーディネート活動の充実

日程：10月24日（月）・11月9日（水）10:30～12:30（全2回）

内容：コーディネーターが、それぞれの学校で活動するときに役に立つ内容。子どもを取り巻く社会課題等。

参加者数：42人（延べ人数）

成果：コーディネーターは、それぞれの学校で活動しているので、相談相手がいないことが多い。他校の状況を知り、課題の情報共有が図れ、社会的課題の学びあいができ、好評であった。

課題：学校地域コーディネーター養成講座修了生が対象のため、講座の周知が難しかった。

④ 家庭教育学級ばんぶきん

目的：乳幼児を持つ親たちがつながり、共に子育てや社会的課題などについて学ぶとともに、社会参加の一步とする。

日程：10月6日（木）～11月3日（木・祝）10:00～12:00（全5回）

対象：乳幼児を持つ親

参加者：13組

内容：テーマ「ママの気分転換タイム」～ここ～から始まる友達づくり～

子育て中の親の支援という位置付けでの事業。内容は、子どもの躰や家族にかかるお金の話を専門家を招いて聞き、骨盤エクササイズで体を動かし、気持ちをリフレッシュした。

*一時託児は磯子区子育てサポート隊に依頼。

成果：13組の親子の参加があった。母親からは、子育て期に講座に参加し、生活に潤いが出たと好評であった。子どもたちは、別室で保育者と一緒によく遊びました。

課題：一時託児の子ども年齢が0歳～2歳と低くなり、保育ボランティアの人数が足りない。

事業目標 3

横浜の読書活動を推進する

① 子どもの読書活動推進

・おはなし会ボランティア養成講座（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：学校や地域でおはなし会や読み聞かせの活動をしている人を対象に、基本的な考え方やスキルアップを図るとともに、仲間づくりにつなげる

日程：6月3日（金）～24日（金）（全4回）10：00～12：30

対象：学校や地域でおはなし会や読み聞かせをしている人

参加者数：35人

内容：おはなし会の意義、読み聞かせの実践、プログラムの作り方

成果：学校で読み聞かせをしている人は、入れ替わりが激しいので、毎年養成講座が必要である。

また、活動を継続している人にも学び直しのいい機会となっている。

・おはなし会ボランティア講演会（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：上記の養成講座ではおはなし会の基本を学び、公演会では読書活動に関わる内容を実施。今年は「さわださちこ氏」を招き、明るくて楽しい図書館づくりの工夫を学んだ。

日程：1月28日（土）10：00～12：30

対象：学校や地域で読書活動をしている人

参加者数：60人

内容：図書館のディスプレイの実践、本の紹介

成果：参加者の半数が学校図書館司書だった。直ぐに役立つ実践的な内容で参加者からはアンコールの声があり、次年度も招聘予定。

・読書活動ボランティア交流会（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：学校や地域で読み聞かせや図書整備などのボランティアが全市から集まり、手遊びとわらべ唄の実習とそれぞれの活動の情報交換を行い、活動へ活かしていく。

日程：10月7日（金）10：00～12：30

対象：学校や地域で読み聞かせや図書館整備のボランティアをしている人

参加者数：20人

内容：手遊び、わらべ唄の紹介ワークと情報交換

成果：課題出し、課題解決のワークを行うことで、互いの活動の情報共有ができた。全市での交流会は他ではないので、今後も実施していきたい。

② 紙芝居講座（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：おはなし会や読み聞かせをしている人に紙芝居の歴史や演じ方の講習を行いスキルアップを図る。

日程：11月25日（金）10：00～12：30

対象：学校地域で読み聞かせをしている人、紙芝居に関心のある人

参加者：53人

内容：紙芝居の実演とワーク

成果：絵本の読み聞かせと紙芝居の演じ方の違いや歴史を学ぶことで、今後の活動の幅が広がった。

③ BOOKカフェ 大人の図書館

目的：成人の読書活動推進を目指し、新たな本との出会いと新たな演者の発掘。

日程：8月27日（土）・1月21日（土）15：30～17：30

参加者：31人

内容：8月は「怖いおはなし」1月は「ほっこりなおはなし」

成果：大人向けに実施。おはなしの好きな大人が参加し、参加者から演者が3人発掘できた。

④ おはなしの国

目的：子ども達が本に触れるきっかけとして、またおはなしの国養成講座修了生や地域で活動している人達の実践の場

日程：5月21日～3月18日（毎月第3土曜日）11：00～11：40（全9回）

対象：子どもから大人まで

参加者：197人

内容：絵本の読み聞かせ、素話（ストーリーテリング）、紙芝居、手遊び・歌遊びなど

成果：出演者の新たな開拓をし、併せて事前に打合せを行い、おはなし会の内容がバラエティになった。
また、近隣でのイベントなどの日程も考慮し年間スケジュールを組んだことで、参加者数も増えた。

⑤ 大型絵本研究会

目的：現在保存している大型絵本の有効活用と利用啓発を図る

日程：4月～3月

対象：おはなし会や朗読会活動者

利用者数：4団体

内容：おはなし会や学校での活用

課題：内容がアジアの民話なので、日本の民話の紙芝居作成が必要である。

⑥ おはなし会ボランティアあれこれセミナー

目的：地域でおはなし会を開催する時に注意する事や、継続していく工夫を学ぶ

日程：10月15日（土）・12月17日（土）13：15～15：15

対象：おはなし会出演者、読書プロジェクト

参加者数：15人

内容：地域施設職員から施設の取り組みと活動ボランティア紹介。ボランティア活動継続の工夫や課題
成果：学校中心での活動者が多い中、地域施設での活動の実際を学び、新たな気づきがあった。

交流の機会をつくる

① おまつりだ！！

目的：近隣住民に社会教育コーナーを知ってもらう啓発事業

日程：4月29日（金・祝）10：00～15：00

対象：子どもから大人まで

参加人数：1、289人

内容：主催事業の講師や磯子区内NPO等15団体と連携し、コーナー全館を使って「縁日ごっこ、人形劇、工作体験、フリーマーケット、みんなで歌おう、フォークソング演奏、」など実施。

成果：「いそっぴゴールデンウイーク」スタンプラリー（4月23日～5月8日）にも参加し、併行して集客を行ったことで、多くの参加につながった。

② いそっぴゴールデンウイーク スタンプラリー（主催：磯子区館長連絡会）

目的：区内の公共施設がつながってイベントを行うことで、区民に多くの施設を知ってもらい、また職員同士も情報交換等を行うことで、互いの関係性の構築を図る。

日程：4月23日（土）～5月8日（日）16日間

内容：施設を巡るスタンプラリーを実施。スタンプが4つ集まると粗品と交換できる。

参加者数：コーナーに来た人数 523人

成果：磯子区地図と期間内に開催する各施設のイベントが載ったチラシを大量に配布することで、普段利用の無い人の来館があり、「おまつりだ〜」の周知もできた。

③ 大掃除&交流会

目的：登録団体が一緒に掃除を体験することによりお互いの活動を知るきっかけとする

日程：12月26日（月）10：00～12：30

対象：登録団体

参加人数：47人（21団体42人+アクト会員）

内容：前半は6～8人のグループで各部屋を掃除。（部屋の隅やブラインドなど）きめ細かく皆で力を合わせ実施。後半はお茶を飲みながらの交流タイム。

成果：普段、交流のない団体同士協力してコーナー全体の清掃を行うことにより、施設を大事に利用する意識の喚起と交流を図る。

④ 多文化交流カフェ（共催：おもいきり楽しい国際交流の会）

目的：異文化交流と外国の人の居場所づくり

日程：9月3日（土）～3月4日（土）10：30～12：00（全4回）

対象：一般成人

参加人数：43人

内容：防災について・クリスマスカード作り・お正月等、お茶を楽しみながら話し合う

課題：外国の人の参加が少ない

⑤ 親子の広場（共催：ばばぼる〜ん）

目的：乳幼児を持つ親がつどい、子どもと一緒に遊びを通して交流する

日程：4月～3月（毎月最終月曜日）10：30～11：30（全10回）

対象：乳幼児と保護者

参加人数：206組の親子

内容：広いトレーニングルームを利用し、親子一緒に歌遊びや手遊び、紙芝居や専門家による「食育」の話、また各季節の行事も盛り込んだ。（ハロウィン等）

成果：毎月定例で行うことと行事内容が事前にわかる工夫をした結果、昨年に引き続き参加者数が増えた。今後も近隣の子育て拠点（広場）とは違う魅力で開催していきたい。

⑥ 横浜サンタプロジェクト

目的：企業・学生・NPOが連携してサンタになって横浜に笑顔を届ける

日程：12月10日（土）12：00～16：00

対象：子どもから大人まで

参加者数：830人（サンタの人数）

内容：訪問サンタ（子どもの福祉施設）、清掃サンタ、ステージサンタ、ブースサンタ、ドライブサンタがあり、子ども達が主役になって一日を楽しむ。

成果：年ごとに参加するサンタが増えると同時に、広場での集客も1000人以上となっている。

⑦ 盆栽カフェ（共催：NPO法人アクションポート横浜・石井造園（株））

目的：小さな盆栽の楽しみ方を知り、参加者同士交流を深める。

日程：4月3日（日）～3月5日（日）13：30～16：30（全10回）

参加者数：延べ136人

内容：松ぼっくりの苔玉作りや寄せ植え等を体験しミニ盆栽を楽しむ。

成果：単発事業に関わらず、リピーターが多く、続けて受講しても楽しめる講座となった。親子での参加もあり、対象を広く考える視点ももらった。

学習機会の提供

① はじめてのみずあそび

目的：乳幼児が安全にみずあそびを体験できるようボランティアのサポートのもと行い、併せて親同士の交流の場を図る。

日程：7月26日(火)～28日(木) 11:00～11:40 (全3回)

参加者数：32組(87人)

内容：プールを幾つか用意し、1回13組の親子が水遊びを楽しんだ。家庭ではなかなかプール遊びができないので、安全に遊ぶ方法も伝えた。

成果：親同士が顔見知りになれた。

② ママフィットネス

目的：母親の健康づくり。子どもも同室で一緒に体操を楽しむ。

日程：4月19日～2月21日(火) 9:40～10:40 (全11回)

参加者数：延べ66組

内容：子どもと一緒に親が体操でリフレッシュする。柔軟体操とリズム体操を組み込んで楽しく自分の時間を過ごす。3回継続参加の場合、参加費用の割引を行うことで参加者の微増につながった。

成果：継続で参加する親子が多く、当コーナーで開催している「家庭教育学級ぱんぷきん」への導入となった。

③ 学習ルームパレット (共催：学習ルームパレット)

目的：学習障害を抱えるとか、様々な理由で勉強が遅れている子どもの学習支援

日程：4月～3月 毎週木曜日 15:00～19:00

参加者数：延べ362人

内容：小中学生徒の学習支援

成果：継続して、同じ場所での開催が子ども達が学習することへの担保となっている

④ 英語でトーク inISOGO (共催：おもいっきり楽しい国際交流の会)

目的：様々な国の出身者をゲストに迎え、母国の文化や習慣などを紹介してもらい、理解を深める。

日程：5月28日～7月23日(土) 10:00～12:15 (全3回)

参加者数：24人

内容：アメリカ・パキスタン・タイの方々に、母国の紹介や日本での活動等をはなしてもらい、お茶とお菓子を戴きながら、英会話を楽しむ。

成果：リラックスした雰囲気の中、英語で話し合うことは、中級レベルで英語を話せる人には自分のステップアップになる。

他機関・団体等との協働

目的：コーナー事業を館内実施だけにとどまらず、広く各方面と繋がることでコーナーを知ってもらい一緒に事業をすることで、顔のみえる関係も構築され業務に活かしていく。

① 横浜山手芸術祭

花と器のハーモニーや横浜山手芸術祭の各実行委員会に参加。事業の一端を担った。

② 磯子区内子育て支援ネットワーク

地域子育て拠点「いそピヨ」とこども家庭支援課が中心となり、テーマを基に定期的に話し合いなど行っている。顔の見える関係が進み、連携して地域別のイベント4か所での開催に協力した。

③ 読書活動推進プロジェクト

市内各地で、子どもの読書活動推進に関わっている人たちと協働して、おはなし会ボランティア養成講座、公開講座、学校図書ボランティア交流会、紙芝居講座等を開催。併せて養成講座修了生の「おはなし会」デビューの支援も行った。

④ 学習ルームパレット

学習障害を抱え、もしくは様々な理由で学習が遅れている子どもの学習支援を社会的課題支援事業として位置づける。毎週実施し、学習の継続性を担保し、担い手育成の支援も行う。

⑤ 磯子区NPO連絡会

NPOのメンバーとの付き合いの中でコーナー事業への協力も多々あり、相互に情報交換していく中で理解も深まった。磯子区役所から事業の参画依頼（市民活動フォーラム）もあり今後も目的に沿った活動を進めていく。

⑥ 磯子図書館

例年さまざまな読書活動推進に絡み、磯子図書館の協力をお願いすることが多い中で今年度も養成講座をはじめ各講座の後援支援を受ける。関連本の貸し出しなどをスムーズに受けられることができ、磯子図書館利用者懇談会の座長も務めている。

⑦ 横浜サンプラザプロジェクト

企業・学生・NPOとの連携を目的に12月のイベントに向け実行委員会に参加した。結果対外的にコーナーの紹介もでき、多くの方とも知り合えた。CSRを実施している企業と市民活動団体の集まりなので、実行委員会内での情報共有も盛んに行われ、一部企業とは学校地域コーディネーター事業とも連携している。

⑧ 市内・区内の関係機関・団体

定例の磯子区館長連絡会や子育て支援ネットワークに参加、また「いそご区民活動支援センター」とは普段の相談対応とイベントや講師等の情報交換などで密接につながっている。その他団体主催事業などにも出かけた。今後も「つながり」を大切に業務に活かしていきたい。

社会教育コーナー事業の広報・周知

コーナーの事業を区内はもとより、市内の各種機関や施設に依頼して広く広報を行っている。今年度も事業内容により配布先にメリハリをつけて周知していった。また連絡会など顔を合わせる機会での周知や近隣施設などへは直接出向き配架並びに配布の依頼を丁寧に行った。今後も職員全員が動ける体制で臨みたい。

平成28年度 生涯学習事業(自主事業)一覧

事業分類	事業名	回数	時期	受講料 (円)	対象	募集人数 (人)	参加者数 (人)	受講料 収入(円)
学校教育・社会教育の 人材育成の強化と充 実	横浜学校・地域コーディネーター連絡会	12	4月～3月	0	養成講座 修了生	随意	140	0
	Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム	1	9月10日	0	一般	随意	203	0
	学校地域コーディネーターフォーローアップ講座	2	10月・11月	0	コーディネーター	各回30	42	0
	家庭教育学級ぱんぷきん(*1)	5	10月～11月	2000	未就学児の親	20組	13組	0
横浜の読書活動を推進する	おはなし会ボランティア養成講座(*2)	4	6月	1500	一般	37	35	29,940
	おはなし会ボランティア講演会(*3)	1	1月28日	1000	一般	80	60	
	読書活動ボランティア交流会(*4)	1	10月7日	600	一般	50	20	
	紙芝居講座(*5)	1	11月25日	600	一般	60	53	
	BOOKカフェ 大人の図書館	2	8月・1月	0	一般		31	0
	おはなしの国(*6)	9	5月～3月	0	大人から子どもまで		197	0
	大型絵本研究会		4月～3月			随意	4組	0
	おはなし会ボランティアあれこれセミナー	2	10月・12月	200	一般	随意	15	3,000
交流の機会をつくる	おまつりだ!	1	4月29日	0	大人から子どもまで		1289	27,432
	いそっぴゴールデンウィークスタンプラリー	16	4月23日～5月8日	0	大人から子どもまで		523	0
	大掃除&交流会	1	12月26日	0	登録団体	60	47	0
	多文化交流カフェ(*7)	4	9月～3月	100	一般		43	0
	親子の広場(*8)	10	4月～3月	150	乳幼児と親		206組	0
	横浜サンプラザプロジェクト	1	12月10日		一般		830	0
	盆栽カフェ(*12)	10	4月～3月	2,000	一般	150	136	40,000
学習機会の提供	はじめてのみずあそび(*9)	3	7月末	150	乳幼児と親	45組	32組	4,800
	ママフィットネス(*10)	11	4月～2月	1,000	未就学児と母親	165組	66組	72,200
	学習ルームパレット		4月～3月		小・中学生		362	0
	英語でトークinISOGO(*11)	3	5月～7月	3000	一般	30	24	15,300
計							参加者総計321組&4,050人	192,672

- * 1は社会福祉協議会の補助金事業。運営委員会形式
- * 2・3・4・5・7・11は共催事業。収入は共催団体へ。事務費計上
- * 10は参加費割引あり
- * 6・9・10は社会福祉協議会補助金事業
- * 8は共催事業。収入は共催団体へ
- * 12の参加費は材料費。共催企業へ。事務費計上

(4) 平成28年度管理運營業務収支報告書（委託事業を除く）

単位：円

	項目	内 訳	28年度予算(a)	28年度決算(b)	差引 (b)-(a)
収入	指定管理料	人件費・管理費等概算(利用料金減免補填含む)	12,585,488	12,585,488	0
	利用料金収入	施設利用料・付帯設備利用料(ピアノ・ロッカー・その他)	3,500,000	3,773,800	273,800
	事業収入	生涯学習事業(自主事業)一覽参照	197,500	192,672	△ 4,828
	その他収入	自販機・コピー・印刷等	300,000	301,783	1,783
収入合計(A)			16,582,988	16,853,743	270,755
支出	人件費	常勤職員給与・自給職員賃金・法定福利費・通勤費	10,980,000	11,609,320	629,320
	管理費	清掃費・水道光熱費・電気・水道等設備点検費	2,326,000	2,348,521	22,521
	事業費	自主事業費より、講師謝金・会場費・その他経費	349,200	381,381	32,181
	事務費	消耗品費・通信連絡費・印刷製本費・備品購入費・保険料等	1,984,788	1,291,908	△ 692,880
	指定額(小破修繕)		300,000	386,637	86,637
	公租公課		643,000	831,000	188,000
支出合計(B)			16,582,988	16,848,767	265,779
収支差額(A) - (B)			0	4,976	4,976

平成28年度管理運営業務収支内訳書

単位：円

項目		27年度 コーナ－管理運 営業務収支	28年度 コーナ－管理運 営業務収支		備考
		決算	決算	内訳	
収入 (A)	指定管理料	11,485,372	12,585,488		
	利用料金収入	3,828,450	3,773,800		
	自主事業収入	833,163	192,672		
	その他収入	306,170	301,783		コピー・印刷代・自販機収入等
	合計	16,453,155	16,853,743		
支出 (B)	人件費	11,496,675	11,609,320		給与全般・交通費
	管理費	2,239,229	2,348,521		光熱水費・定期清掃・設備点検等
	自主事業費	695,788	381,381		
	事務費	1,082,905	1,291,908		
	旅費			51,675	
	消耗品			383,460	
	会議費(食糧費)			0	
	印刷製本			146,450	
	通信費			131,596	
	備品購入			0	
	その他事務			578,727	
	利用料金減免歳入費	0	0		
指定額(小破修繕)	300,031	386,637			
税金	635,500	831,000			
合計	16,450,128	16,848,767			
差引収支(A)－(B)		3,027	4,976		

平成28年度利用料金収入

単位:円

一般利用	月	研修室A/B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	計	累計
	4月	52,500	43,000	72,000	94,400	43,400	14,200	△ 1,800	317,700	317,700
	5月	52,200	52,000	73,600	81,600	68,400	14,500	△ 2,900	339,400	657,100
	6月	46,800	36,000	64,000	87,200	42,200	9,300	△ 7,100	278,400	935,500
	7月	60,000	34,000	65,600	92,800	45,700	10,300	△ 5,650	302,750	1,238,250
	8月	61,200	37,000	75,200	84,000	40,600	12,900	△ 1,950	308,950	1,547,200
	9月	61,800	43,000	70,400	97,600	38,600	9,900	△ 4,200	317,100	1,864,300
	10月	52,800	40,000	73,600	80,000	47,100	11,400	△ 5,700	299,200	2,163,500
	11月	64,400	30,000	67,200	75,200	44,200	10,500	△ 3,250	288,250	2,451,750
	12月	55,200	41,000	89,600	100,000	50,700	10,800	△ 5,450	341,850	2,793,600
	1月	57,600	40,000	57,600	84,800	51,100	7,200	△ 1,600	296,700	3,090,300
	2月	66,000	48,000	75,200	76,000	63,600	25,100	△ 2,700	351,200	3,441,500
3月	57,600	42,000	62,400	85,600	51,600	33,800	△ 700	332,300	3,773,800	
計	688,100	486,000	846,400	1,039,200	587,200	169,900	△ 43,000	3,773,800	3,773,800	

平成28年度その他収入

単位:円

月	コピー代	自販機売上	シャワー	計	累計
4月	10,125	9,711	0	19,836	19,836
5月	16,904	6,319	200	23,423	43,259
6月	36,411	8,505	0	44,916	88,175
7月	14,431	5,439	500	20,370	108,545
8月	4,039	10,120	800	14,959	123,504
9月	11,402	5,629	300	17,331	140,835
10月	20,879	8,599	900	30,378	171,213
11月	8,753	8,882	300	17,935	189,148
12月	9,550	4,986	200	14,736	203,884
1月	12,691	7,434	0	20,125	224,009
2月	37,285	4,559	0	41,844	265,853
3月	28,829	7,101	0	35,930	301,783
計	211,299	87,284	3,200	301,783	301,783

(5)平成28年度横浜市社会教育コーナー利用状況年間報告書

部屋別及び時間帯別

		研修室 A	研修室 B	研修室 C	アート ルーム	トレー ニング ルーム	交流ス ペース	スポー ツ広場	合計	午前	午後	夜間	合計
利用人数 (単位:人)		6,537	5,304	5,230	10,052	13,709	3,069	2,885	46,786	22,697	17,635	6,454	46,786
	前年	7,645	6,847	5,107	10,052	13,549	4,238	3,180	50,618	25,021	18,877	6,720	50,618
利用コマ数		423	393	540	538	1,340	452	636	4,322	1,988	1,643	691	4,322
	前年	449	449	565	579	1,330	573	655	4,600	2,124	1,756	720	4,600
総コマ数(28年度)		970	970	970	970	1,940	970	1,214	8,004	3,024	3,020	1,960	8,004
利用率		43.6%	40.5%	55.7%	55.5%	69.1%	46.6%	52.4%	54.0%	65.7%	54.4%	35.3%	54.0%
	前年	46.1%	46.1%	58.0%	59.4%	68.3%	58.9%	55.3%	57.5%	70.8%	58.0%	36.5%	57.5%
利用率前年対比		94.2%	87.5%	95.6%	92.9%	100.8%	78.9%	97.1%	94.0%	93.6%	93.6%	96.0%	94.0%

月別合計数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数 (単位:人)		4,671	3,453	4,331	4,397	3,531	4,906	4,090	3,925	2,990	2,950	4,002	3,540	46,786
	前年	5,498	3,809	3,981	4,729	4,526	4,310	4,440	4,509	3,772	3,184	3,467	4,393	50,618
利用コマ数 (※1)		355 (266)	368 (258)	386 (293)	398 (278)	341 (244)	381 (302)	360 (279)	359 (310)	324 (244)	320 (241)	355 (265)	375 (316)	4,322 (3,296)
	前年	391 (282)	398 (287)	400 (304)	398 (294)	387 (264)	386 (289)	414 (299)	387 (292)	349 (264)	336 (249)	370 (262)	384 (286)	4,600 (3,372)
総コマ数(28年度)		678 (492)	690 (492)	683 (498)	689 (504)	705 (510)	648 (486)	694 (504)	667 (486)	608 (438)	620 (444)	629 (456)	693 (510)	8,004 (5,820)

※1: ()内数字は研修室A～C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分のコマ数

利用率 (※2)		54.1%	52.4%	58.8%	55.2%	47.8%	62.1%	55.4%	63.8%	55.7%	54.3%	58.1%	62.0%	56.6%
	前年	57.3%	57.6%	61.0%	57.6%	51.8%	60.2%	58.6%	60.8%	60.3%	56.1%	55.3%	56.1%	57.7%
利用率前年対比		94.3%	89.9%	96.4%	94.6%	92.4%	104.5%	93.3%	106.2%	92.4%	96.8%	101.1%	110.5%	97.7%

※2: 利用率は研修室A～C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分となります。上記「月別合計数」表内の()内数字で計算

利用率向上への取組

- ①手持ちのコマ数に関係なく1週間前に利用のルールが定着し、各団体が活用している。
- ②全ての部屋(スポーツ広場を含む)の利用コマ数を1団体あたり5コマにした取組が定着してきた。
- ③利用団体の作品発表、活動紹介、情報交換の場として回廊に展示スペースを設置し供用を開始した。
- ④活動時間前後に座って打ち合わせをするなど、ゆったりと交流コーナーを利用している。

平成 28 年度 横浜市社会教育コーナー利用者会議報告書

日時：平成 29 年 2 月 3 日（金）午後 2 時～3 時 30 分

会場：横浜市社会教育コーナー研修室 C

出席者：柳梅会：森田 カモミールの会：新井 太極拳ゆっくりーず：後藤

クール・ヴァンヴェール：西柳

教育委員会：吉田

アクト：福島・高橋

1 挨拶 NPO 法人横浜市民アクト 福島
横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課 吉田

2 報告 横浜市社会教育コーナーについて
利用者アンケート結果、アンケートへの回答（「利用者アンケート集計結果」参照）
施設管理・保安状況
28 年度事業計画について

3 アンケートや施設管理、事業について

事務所：利用者アンケートで、付帯設備の支払いを会場申込み時とは別に利用当日にして欲しいという意見があったが如何でしょうか

利用者：支払う側にとっては、金の出入りが煩雑になるので、現状のまま同時でいい

事務所：会場の申込みについて、キャンセルが申込み時から 1 週間以内しかできない旨の苦情があるが、本来当施設の条例ではキャンセル料の支払いはできない。運用上認めているだけである。また、同じ部屋を 2 枠連続して申込みできないのは、多くの団体に利用して欲しいからである

事務所：スポーツ広場の倉庫の中にテニスボールが置いてある。これは利用者が勝手に置いていったもので、施設の管理品ではないが、ボールの定期的な入替えを望む声がある

利用者：ボールは施設の管理品でない旨の張り紙があればいいのではないかと

事務所：アートルームのピアノの位置を変更したことへの苦情が多い。変更した理由は、調律師からアップライトピアノは壁に付けないと乾燥が進み痛むとの進言を受けての対応策を取った

利用者：利用者は、以前の形に慣れているのではないかと。ピアノの事を考えたら、現在の壁に付けた形がいい

事務所：コーナーの事業について意見をください

利用者：利用者会議や大掃除で他の団体と交流が持てるのがいい

事務所：会場の申し込み方法（先着順）について、朝早く並ばないといけないとの理由から、改善を求める声がある

利用者：先着順は、並べば必ず取れることと、希望する部屋が取れない場合、日程や部屋の変更ができるので、現状維持を希望する

利用者：アートルームの椅子が軽くなって、片づけ等しやすくなった。有難い

事務所：回廊の壁面に展示スペースができた。感想をください

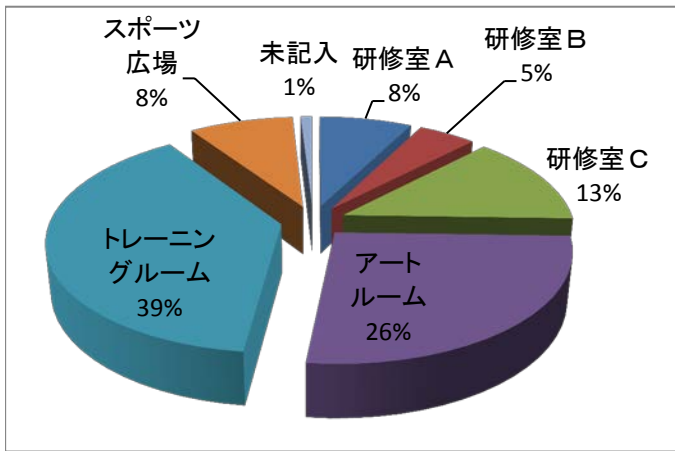
利用者：以前の書棚より広くなり、明るくなった。利用者拡大するには、展示スペースの利用についての展示作品がある団体にPRした方がいい

4 意見交換

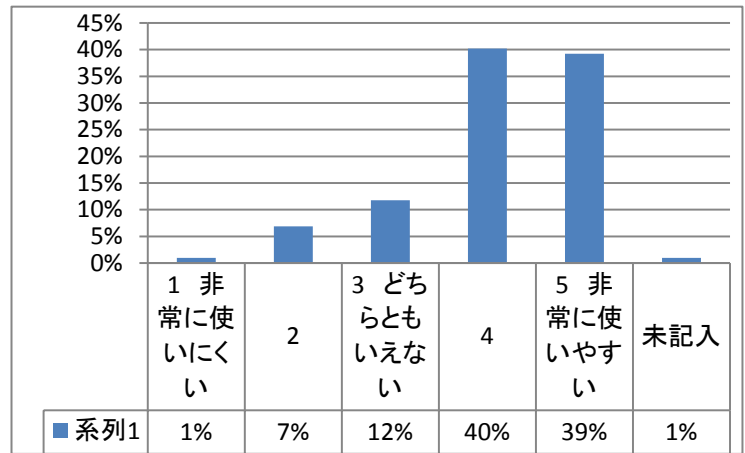
- ・団体の中にはいろいろな人がいて、様々な意見を持っているが、根拠のある返答をすることや、日頃からの信頼関係で理解してもらえらると思う。また、何かあったら代表の自分がきちんと伝える
- ・いつも気持ちよく施設を利用させてもらっている
- ・利用する側にも、私たちの施設だからという意識は必要だと思う
- ・公共の施設を利用して、私たちが楽しんでいる・・・主体的活動をする

利用者アンケート集計結果

1. いつも利用される部屋はどこですか。



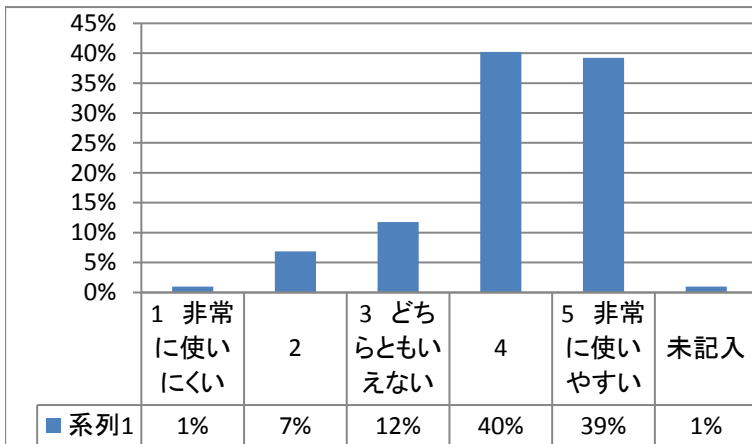
2. 施設の使いやすさはいかがですか。また、気になるところはありますか。



【施設の気になるところ】

- * 2 枠連続して取れない（毎月の予約時）予約からたった1週間しかキャンセル料がもどらない。付帯設備料金を予約時に支払わなければいけない。（他機関は当日）
- * 照明が暗い感じがします。（絵を描くためか？）
- * アートルームの冷暖房が平均にいきわたらない。（5件）
- * スポーツ広場から見える時計の時刻が正確でないので不便です。
- * 冬は床が冷たい。（フローリングにしてほしい）
- * 窓の開閉が固い。 * トイレが寒いです。 * 蚊が気になります。（3件）
- * 隣の部屋の音。
- * ボールの入れ替えを定期的の実施して欲しい。（2件）
- * コートのエンドラインの後方の広さが同じでない。

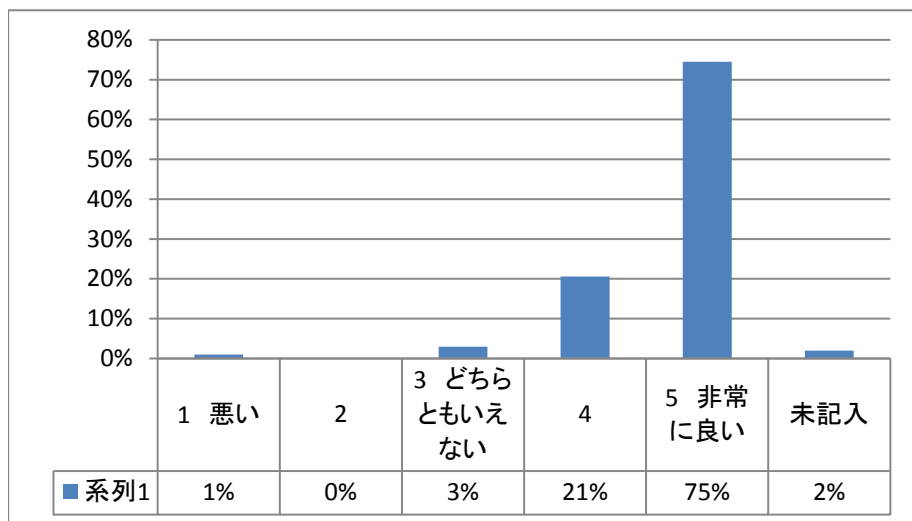
3. 利用する際の手続きや申請の方法などはいかがですか。



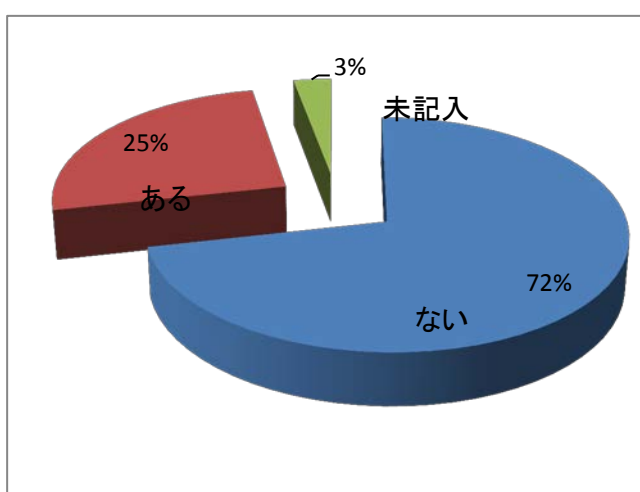
4. 付帯設備（ピアノ・ラジカセ・イーゼル・卓球台等）のご利用時、気になることはありますか。

- * ピアノがカベにくっついた感じなので音がこもるように思う * ピアノの調律をきちんとしてください。
- * ピアノの位置は現在のままでしょうか(6件)
- * 故障中のラジカセが多いので新しい物品を入れてほしい。(3件)
- * CDラジカセが新しくなってありがとうございました。 * ラジカセが変わるとまごつく
- * 研修室Cを利用の場合でもピアノの利用ができるととてもベストだと思います。(小さい電子ピアノでもいいのですが)

5. 窓口での対応はいかがですか。



6. 社会教育コーナー主催の講座に参加したことがありますか。



【講座名】

盆栽カフェ
 美し歌おう 映画音楽を歌おう
 体操
 読み聞かせボランティア養成講座
 紙芝居
 パネルシアター
 園芸教室
 国際交流英語での講演会
 筆ペン
 水彩画
 横浜の歴史にまつわる歌など
 おとなのフォークング部
 古文書関連

7. その他、当施設についてご意見・感想がありましたらお書きください。

* 空いている時間帯を有効利用させてもらえるとありがたいです。時間割にとらわれずにやっていただけたらもっと利用回数が増えるので。

* いつも使用させていただき助かっています。受付の方々の対応もとてもよく気持ちがいいです。これからもよろしくお願いします。

* いつもありがとうございます。とても感謝しています。

* 2時間枠のところは2枠続けてとれるようにしてほしい。
 キャンセルは利用1ヶ月前くらいまでは料金が戻ってくるようにしてほしい。付帯設備料金は当日の手続きで支払うようにしてほしい。

* 部屋の利用許可申請のため1日午前8時前から並ぶのがあるとはサークルに入ってからわかりました。これから寒くなる季節何かもっと良い方法はないでしょうか

* 職員の皆さんがいつも明るく対応してくださるので話しやすいです。ありがたいです。トイレの便座がコワイです。(太りぎみなので)

* 冬でも蚊がでる

* 利用時間の5分前に終了して欲しい

* 予約方法について1時間かけてくるのでかなり早いと思っても回ごとに皆さん早くなっているようで長い列です。そうかといってスマホやネットの苦手な世代、なんとも悩みどころですね。

* いつもありがとうございます。

* 利用回数制限をもう少し緩和してほしい。例えば6回なら月2回利用できるのでは。

* 毎週とれてうれしいです。

* いろいろな事柄にご相談にのってくださりありがとうございます。特に受付では笑顔やはずんだきれいな声で親しみや暖かさをいつも感じて感謝しています。

* 先着順ではなくあらかじめ受け付け、1日の抽選してほしい。

* 予約の方法をご検討ください。

* 施設の申込み方法1日ではなく、その前の数日間に第3希望まで書いて提出すれば申込月の分はほとんど処理できます。利用が重なったところだけ話合えば1日にお互いに申込みに何時間もとらずに済みます。

* 今後ともよろしく願います。(2件)

* 特に不都合はありません。

* 二か月先まで予定を確定したいので持ち数を6コマにして欲しい。

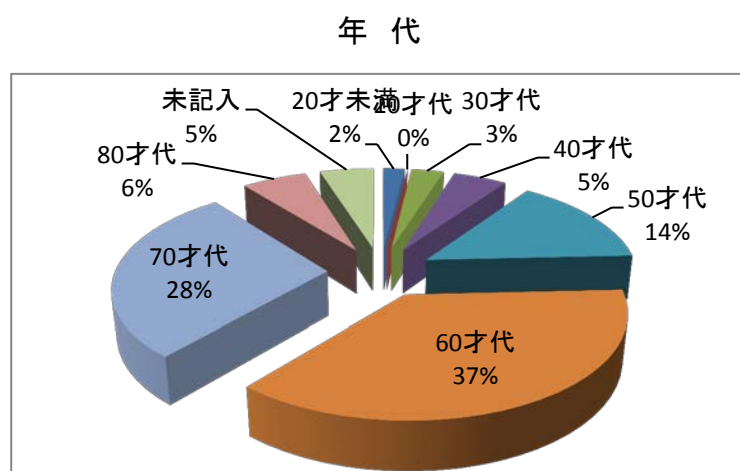
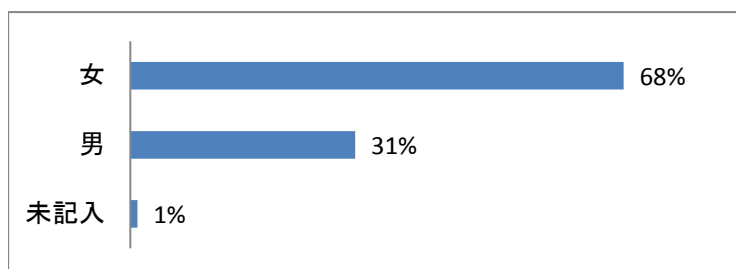
* 時計の時刻合わせを行って欲しい。

* コートが補修されると良いです。

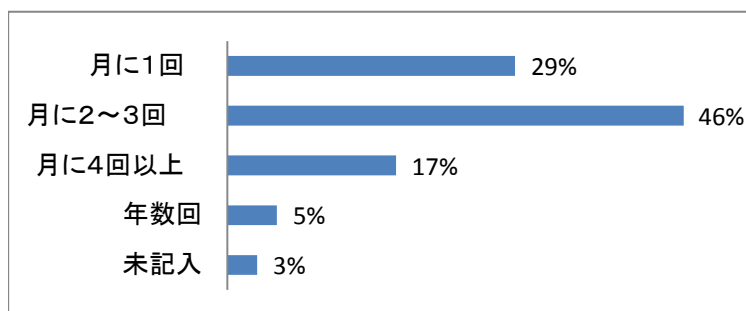
* いつも満足しています。お世話になりありがとうございます。

回答者情報

利用者102人にアンケートのご協力をいただきました



施設利用回数



お住まい

